

6237

イワキポンプ



代表取締役社長 藤中 茂 氏



～ケミカルポンプの専業・総合メーカーで国内トップクラス～

イワキとは

- **設立・事業内容**
 - ・1956年4月に設立しました。
 - ・ケミカルポンプ及びポンプ専用コントローラ等の周辺機器を開発・製造及び販売しております。
- **ケミカルポンプとは**
 - ・ケミカルポンプは化学薬品等の薬液移送に使用されるポンプです。
 - ・当社製品は半導体・液晶、医療機器、表面処理装置、化学、水処理、新エネルギー、食品、製紙市場等、幅広い産業分野へ出荷されています。
- **当社の特徴・強み**
 - ・豊富な製品ラインアップを有し、世界規模の生産・販売・サポート体制を確立しています。
 - ・ケミカルポンプを中心に、ソリューションを提供しています。

今後の戦略

- **2017年3月～2019年3月期、第一期中期経営計画**
 - ・この期間に、収益基盤の再構築を目指します。
 - ・具体的には、当社が強化市場と位置付ける、医療機器、新エネルギー、水処理市場へ、経営資源を優先的に投入します。
 - ・顧客対応力を強化し、保守、コンサルティングといったソリューションビジネスを強化します。
 - ・海外戦略地域、及び、新規事業分野で、それぞれのビジネスモデルを精査・推進していきます。
 - ・業務提携、M&Aも進める意向です。2016年12月にはテクノエコー株式会社を子会社化し、残留塩素計を軸とした成長戦略を展開します。
- **10年ビジョン**
 - ・売上高400億円、営業利益率を2017年3月期の5.8%から、2025年3月期までに10%へと引き上げる意向です。
 - ・また、グループ一丸となり、世界No.1の製品、品質、価値、サービスを提供します。

業績推移

- **1970～1995年、ポンプのデパート戦略**
 - ・製品ラインアップを増やし、1990年には現在の形に近い、ポンプ総合メーカーのラインアップを完成。国内経済成長に伴い、業績を拡大しました。
- **1995年～現在**
 - ・1995年～2010年には、半導体市場向け製品により業績が拡大しましたが、同時に半導体市場の動向から業績が大きな影響を受けるようになりました。
 - ・2010年以降は半導体市場向けのみならず、他市場向けも強化し、業績は安定的な成長を続けています。
- **2018年3月期第一四半期決算**
 - ・半導体・液晶、表面処理装置市場への設備投資等が牽引し、売上は前年同時期比で8.6%増えました。
 - ・利益率の高い主力商品であるマグネットポンプ、定量ポンプの売上が伸び、よって、営業利益は同46.6%増と、大幅な増加を達成しました。

株主還元、経営理念

- **基本方針**
 - ・配当性向30%超、及び継続的な配当を、当社株主還元の基本方針としています。
- **経営理念**
 - ・「常に最前線で産業を支え、社会の発展と人々の幸福に寄与する」
- **当社のCI(コーポレートアイデンティティー)**
 - ・The Heart of Industry
 - ・Heartには、ケミカルポンプは産業界の「心臓」であること、そして、産業界に貢献するという当社の「心意気」という意味が込められています。
- **企業ブランド**
 - ・「ケミカルポンプならイワキ」と言われる企業ブランド価値を更に向上させていきます。